

防災備蓄品の準備はできていますか

●問い合わせ／危機対策係

地震や津波などの災害はいつ発生するかわかりません。

災害時には安全に避難し、避難生活が送れるように『備蓄品』や『非常用持ち出し品』の備えが重要です。

『備蓄品』は、食料であればチョコレートなどのカロリーが高いものや、フリーズドライ食品などの持ち運びが簡単で腹持ちのよいものなど、少なくとも3日、可能であれば1週間、自力で生活していけるように備えておきましょう。

『非常用持ち出し品』は、自宅を離れて避難場所等に避難する際に、自宅から持ち出す防災グッズです。厚岸町で大地震が発生し津波が到達するまでの時間は、早くても20分から30分程度とされています。

迅速で安全に避難をするため、日頃から定期的に持ち出し品の確認を行い、災害時に備えておきましょう。

備蓄品

例) 長期保存できる飲料水、缶詰、アルファ米、ランタン、携帯用トイレ、使い捨ての食器類、水のいらないシャンプー、体拭きシート など

非常用持ち出し品

例) 飲食料、携帯ラジオ、モバイルバッテリー、毛布、カイロ、懐中電灯、タオル、ティッシュ、救急セット、常用している薬 など



また、落下物などから頭を守るヘルメットや津波から逃げ遅れた際の生存確率を高める救命胴衣は、より安全な避難をするために効果的です。

自分の命を守るために日頃から準備をしておきましょう。

なお、今回紹介した『備蓄品』、『非常用持ち出し品』の詳細は、厚岸町で作成したハザードマップに掲載していますので、ご確認ください。

(仮称)厚岸町防災交流センター建設状況

町では、令和6年5月から港町地区の旧厚岸町商工会館跡地において、(仮称)厚岸町防災交流センターの建設工事を進めています。

現在の完成予定については、施設本体は『令和7年10月末』、駐車場等の外構施設は『令和8年度中』を予定しています。

本施設の利用については、施設本体の完成後となる『令和7年11月頃』の開始を予定していますので、利用開始の際は改めてお知らせします。



※図は完成イメージです

●(仮称)厚岸町防災交流センターとは

津波災害時に緊急的な避難に利用し、地域の皆さんが集い交流するための『津波避難ビル機能を併せ持つコミュニティ施設』です。